

レンチウイルス形質導入用試薬

TransDux MAX

無料サンプル品あります

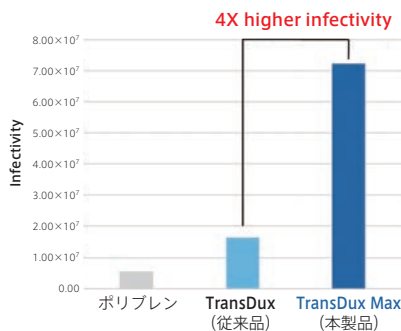


ウイルス粒子を含む培養上清と混合するだけで、培養細胞に高効率でウイルス粒子を形質導入することのできる導入用試薬です。

特長

- ウイルス導入試薬 TransDux に、さらに感染効率を上昇させる MAX Enhancer がセットになった製品です。
- 形質導入しにくい細胞(初代 T 細胞など)でも高い効率で導入できます。すべての種類のレンチウイルスで使用できます。
- 無毒性で、ウイルス感染後の培地交換は不要です。
- 下流の遺伝子発現やその後のアプリケーションには影響を与えません。
- 24 ウェルプレートへ播種した細胞に 100 回導入できます (#LV850A-1, 下記参照)。

使用例



qPCR に基づくウイルス感染定量

本製品 (TransDuxMAX, #LV860A-1), TransDux (#LV850A-1) およびポリブレンを用いてウイルス*を HT1080 細胞に導入した。本製品はポリブレンの約 4 倍、従来品の約 4 倍の導入効率を示した。

*BLIV713 pre-packaged lentivirus [CMV-Luciferase-EF1 α -copGFP-T2A-Puro]

品名	メーカー	商品コード	包装 / 価格 (¥)
Lentivirus Transduction Enhancer, TransDux MAX (100 transductions)			
サンプル			
SBI	LV860A-1	1 kit /	80,000
レンチウイルス形質導入試薬 TransDux (250 μ l) と、感染効率をさらに上昇させる MAX Enhancer (10 ml) のセット。			

関連製品 TransDux 単品

品名	メーカー	商品コード	包装 / 価格 (¥)
Virus Transduction Reagent, TransDux (100 transductions)			
SBI	LV850A-1	250 μ l /	53,000
TransDux 単品。MAX Enhancer が付属しない。			

レンチウイルスによる形質導入を促進する試薬

LentiBlast Premium

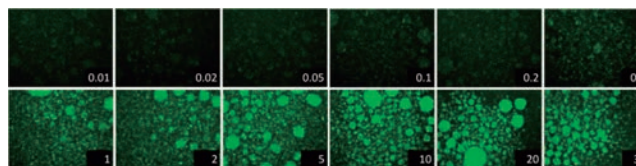


レンチウイルスを用いた形質導入効率を高め、ウイルスの使用量を低減できます。

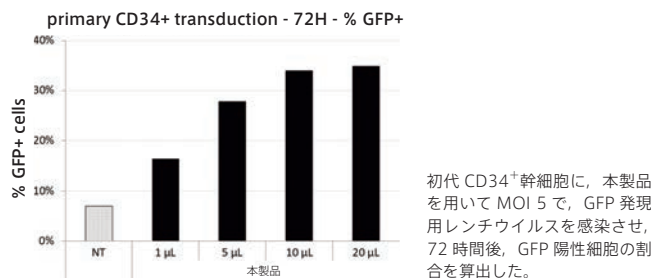
特長

- 浮遊細胞・接着細胞、および幹細胞・初代培養細胞・細胞株と、あらゆる種類の細胞で使用できます。
- 特に CD34⁺細胞 (造血幹細胞, 初代培養 T 細胞) やその他の形質導入が困難な細胞株において優れた導入効果を発揮します。
- 膜貫通電位変化を制限する「膜透過効果」により、細胞毒性が極めて低くなっています。

使用例



CD34⁺幹細胞に MOI 5 (MOI: 多重感染度) で GFP 発現用レンチウイルスを感染させた後、細胞を顕微鏡観察した。右下の数値: 本製品の使用量 (μ l)



操作方法概略



- 1 レンチウイルスを細胞培地で希釈する。
- 2 レンチウイルス懸濁液に、LentiBlast Premium を加える。
- 3 チューブを転倒混和する。
- 4 細胞に懸濁液を添加する。

品名	メーカー	商品コード	包装 / 価格 (¥)
LentiBlast Premium			
OZB	LBPX500	500 μ l /	52,000
OZB	LBPX1500	1,500 μ l /	110,000
24 ウェルプレートで最大 100 回分/500 μ l。			